

# 第 164 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 31 年 1 月 25 日（金） 13：30～15：50

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 佐々木部長 古森課長 湯浅室長 市原課長 牛尾室長（欠席）

村木課長 長見所長 外浦課長（代理：山本係長） 村瀧室長

原田分室長 佐々尾分室長（欠席） 三浦分室長 小松分室長

書記：日ノ原係長 木谷主事

## 議事

### 1 教育長報告

### 2 議題

(1) 平成 31 年度教育方針について（資料 1）

### 3 部長・課長等報告事項

### 4 その他

(1) 自然スクールトエックについて

(2) その他

### 1 教育長報告

石本教育長

先般、委員方にはお忙しい中研修にご参加いただき、ありがとうございました。また、色々感想等を聞かせていただきたいと思います。廿日市市では校務支援システムの関係、安芸太田町加計中学校では協調学習の公開授業を見させていただいた。各教育長を始め、関係者の皆様方から丁寧な説明をいただいたところである。朝早くから 1 日の研修であったが、大変参考になる点が多々あったと感じているところである。

昔から 1 月は行き、2 月は逃げ、3 月は去るということわざがあるが、1 月があつという間に終わろうとしている。私は学校の先生方の人事の関係で、教育事務所と調整の段階に入り、週に 1 回の頻度であり、ばたばたとしているが、何とか先生方の希望に沿う様な形で調整できればと思っているところである。

今年は雪が非常に少なく、明日の雪合戦は体育館の中で行うことが決まった。2 月 10 日は今のところ市木ふれあい広場で行う予定としているが、小学校の雪合戦全国大会が浜田市で行われる。2

月 10 日までに雪が降ればいいなと思っているが、雪が降らなかった場合は体育館の中で行うということである。全国大会であるため、是非、屋外での開催をしたいと思っている。

それではお手元に配付している資料に基づいて、この 1 か月間の報告をさせていただきます。

① 12 月 17 日（月）163 回浜田市教育委員会定例会（2 階会議室）

② 12 月 17 日（月）第 49 回日本少年野球春季全国大会出場・市長表敬（庁議室）

浜田ボーイズが市長表敬をされている。私は他公務の関係で出席ができなかったが、選手の皆さんが市長に挨拶に来られた。

浜田ボーイズは社会体育で中学生の硬式野球のチームであり、1 年生と 2 年生合わせて 15 人の選手がいると聞いている。選手の中で 1 番多いのは石見中学校が 3 人、第二中学校、第三中学校、三隅中学校でそれぞれ 2 人、第四中学校、第一中学校、江津の中学校から 1 人ずつである。結成して 4 年目であるが、既に 2 回目の全国大会出場で、山陰では 10 チームある中で優勝をして全国大会に出場するということであつた。前回は 1 回戦を勝ち上がっており、今回は優勝を目指して頑張っていたきたいと思う。

③ 12 月 18 日（火）平成 30 年度浜田市人権作品コンクール表彰式（浜田公民館）

委員方にも出席をしていただいた人権作品コンクールは、昭和 59 年から開催していると聞いている。既に 34 回目ぐらいの開催になるということで、歴史のあるコンクールである。人権意識の高揚を目的に、これからも続けていかなければならないコンクールだと認識している。

④ 12 月 18 日（火）第 26 回全国障がい者馬術大会出場・市長表敬（市長応接室）

長浜小学校 6 年生の笹田遥海さんが、中国地区の大会で優勝され、全国大会に出場されるということで市長表敬に来られた。まだ馬術を初めて 2 年目ということであつたが、めきめきと力を付けておられて、全国大会に出場する報告に来られた。

⑤ 12 月 19 日（水）浜田市議会定例会 表決・全員協議会

浜田市議会定例会が最終日を迎え、表決、そして全員協議会

で全ての日程を終了した。

- ⑥ 12月20日（木）平成30年度浜田市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式（中央図書館・多目的ホール）

今年は校内審査にかかったものが、1,191点であった。その中で選考されて浜田市全体の審査に上がったのは182点、その内16点を優秀賞として表彰をしたところである。なおかつ、16点については全国コンクールへ推薦した。1月中旬に16点審査をされた中で、優良賞が1点、奨励賞が1点の特別賞をいただいた。年々、作品のレベルが上がっていると担当の指導主事と話をした。

- ⑦ 12月21日（金）日本卓球リーグ優勝・中国電力㈱女子卓球部市長表敬（庁議室）

女子卓球の日本リーグで中国電力の卓球部が優勝をしたということであるが、優勝したから来られた訳ではなく、実は浜田市卓球連盟が中学生の卓球部員を対象とした実技講習会を計画し、講師として中国電力の卓球部の方が来られた。

中国電力は卓球部だけではなく他にも陸上部等が中国管内色々なところをまわり、後輩の指導にあたっておられる。陸上部は浜田に4回くらい来ていただいているが、今回、卓球部は初めて浜田に来ていただき、中学生を中心に指導を行っていただいている。中学生が約90人、そして小学生のクラブチームで頑張っている優秀な子がいるということで、6人くらいが中学生と混じって参加をしたと聞いている。子どもたちは大変喜んで、一流選手の技を教えていただいたということであった。

3人の選手が来られ、やはり日本一になる選手であるので、全国から集まっておられて、1人は青森県の青森山田高等学校、1人が高知県の明德義塾高等学校、もう1人が広島県出身であり、益田市の明誠高等学校の卓球部におられた方であった。明誠高等学校には岸先生という優秀な指導者がおられるので、その先生を頼って全国から明誠高等学校に生徒さんが集まっておられる様である。そういった高校を卒業された選手が集まって、中国電力で頑張っておられるということを知ることができた。

- ⑧ 12月27日（木）第71回全国優良公民館表彰報告及び公民館永年勤続表彰伝達式（市長応接室）

優良公民館表彰を国府公民館が受けた。これは文部科学大臣表彰である。数年前に周布公民館が受賞されたが、それ以来の表彰であった。

そして永年勤続表彰は公民館主事、公民館館長として長年にわたって勤務し、なおかつ勤務成績が良好であった方に贈られる表彰である。これは全国公民館連合会が表彰をされて、表彰状が届いたので、市長から本人に伝達をさせていただいている。

美川公民館長として15年目になる平野公望さん、小国公民館の主事を21年9か月しておられる横山さつきさん、この2名が今回、全国表彰を受賞された。

⑨ 1月3日（木）平成30年度浜田市成人式（石央文化ホール）

これについては、後ほど生涯学習課から詳しく報告があるため、私からは省略させていただく。

⑩ 1月5日（土）ニューイヤー・クラシックコンサート（石央文化ホール）

今年初めて石央文化ホールが自主事業ということで主催をされた。ニューイヤー・クラシックコンサート～新春オペラで結ぶふるさとの友～と題し開催されている。

浜田市出身の方で、全国そして地元で音楽家として活躍されている方々が集まって演奏をされた。ほとんどの方が浜田少年少女合唱団の卒団生ということで、真田先生の教え子であった皆さん方が集まられて、楽しいコンサートが開催された。

当日は500人を超える方々が来ておられて、お正月明けで浜田に残っておられた方もおられ、そういった方も参加をされて賑やかで楽しいコンサートになったと思っている。来年度以降も石央文化ホールでは続けて開催をしたいと言っておられて、本当に楽しいコンサートであった。

長浜幼稚園の吉田園長の娘さんは声楽家で、今ドイツにおられて、ドイツから急遽このコンサートのために帰って来られて、またドイツに戻られたと聞いている。音楽の関係で、全国で活躍をされている方がたくさんおられるということが今回改めてよく分かった。

⑪ 1月8日（火）浜田ソフトテニス連盟・浜田市テニス協会陳情（教育長室）

東公園にあるテニスコートの入り口左側に練習用の壁があ

り、1人で練習をする時に壁にボールを当てて跳ね返ってきたボールを打ち返すという個人練習をするための壁が、安全基準を満たしていないということで、中に鉄筋が入っていないことが判明し、すぐに撤去するという事となった。今年度中に撤去をして、その後、教育委員会の方針としては新たな壁は新設しない考えであったが、それに対してソフトテニス連盟とテニス協会は、あの壁はテニスコートには付き物であり、なければ、練習や大会運営上で支障があるということで、近年中に整備をしてほしいと要望をされた。すぐに対応することは難しいが、来年度のサマーレビューでの要求も含めて、この度検討をしていきたいという回答をしている。

だが、テニスコート自体も老朽化しており、ネット等もかなり錆びており、土も掘り起こして何度もやり替えたりしているが、中々固まらず柔らかくて使いにくいテニスコートだと思う。早朝のテニスではよく使っておられるが、中学校大会等は海浜公園のテニスコートで行うことが主となっており、今後のテニスコートのあり方も含めて、検討していかなければならないと思っている。撤去が70万円ぐらいかかり、新しい壁を作るとなると2、300万円ぐらいかかると聞いている。もう少し簡易的な方法で、同じ機能を有する施設ができないかということも検討する必要があると思っている。

⑫ JICA 事業『ブータン王国における美術教育支援事業』関係者市長表敬(庁議室)

ブータンから4名来られる予定であったが、1名はお子さんが入院されたということで、3名の方が来られた。1名は、ブータン王国王立教育委員長官で、日本でいう文部科学省の事務次官、いわゆる事務方のトップの方に来ていただいた。この方は12日から16日まで日本におられて、既にブータンへ帰っておられる。

美術教育の実習で研修を受けておられる中学校のプラタップタマン教頭先生とソナムチョルデン先生の2人は、各学校や保育園を回っていただき研修を行っていただいている。明日で終了ということで、明後日の日曜日に浜田市を出られる。この事業は昨年度から始まっており、3か年事業であるため、来年度も行われる予定になっている。ブータン王国には美術教育、

図工教育といったものが今まではなかったが、ここ近年、創造力等を高めるために美術教育に取り組んでおられるということで、先進的な取組について研究をするために日本に来られ、その中でも浜田市が選ばれ、非常に光栄なことであった。来年度もう1年間事業がある。

実は14日に、長官へ2時間ほど浜田の教育ということで、話をさせていただいている。

また、市議会議員の方々から長官と意見交換をしたいとの申し出があり、事前の勉強会をした後にこども美術館で1時間ほど、議長と共に来ていただいた。

⑬ 1月17日（木）浜田市教育委員会委員研修視察

先ほど冒頭であった様に、委員方と一緒に研修視察を行った。廿日市市教育委員会で校務支援システムについて、財政的な問題はなく、すんなり導入が決まったというように受け止めている。

それにしても準備の段階の研修であるが、きめ細かな研修がすごいと感じた。中々あそこまで準備をして、導入している自治体は少ないのではないかと感じたところである。

午後から加計中学校の協調学習について視察を行った。安芸太田町が全国の中でもトップランナーであるため、教育長の力の入れ様が違って、すごく自信を持って取り組んでおられると感じた。10年目だということである。

ただ、協調学習の目的について教育長は、教員を育てることにあると言っておられて、その副産物として子どもたちが伸びることが考えられると言い方をされた。普通は子どもたちの方が主であるのではと思ったが、確かにその前段として教員の資質を高めるということも当然大切なことであるため、その辺もしっかり念頭に入れて行っておられた。

マイスターの先生方から、いつでも浜田に行きますというお話をいただいたので、できれば来年度の早い段階で浜田市の中学校、小学校に来ていただいて先生方にしっかり授業を見ていただければと思っているところである。

⑭ 1月22日（火）女子美術大学副学長・橋本弘安氏訪問（女子美術大学）

橋本明治先生のご子息である橋本弘安先生が、女子美術大学

副学長で今年の3月で退職をされるということで、退職記念の美術作品展が女子美術大学ミュージアムという美術館で行われた。そこで先生と1時間余りお話をさせていただいて、作品の説明等もしていただいたところである。今までは中々忙しくて浜田市に足を運ぶことができなかったが、今後は時間が取れるので浜田市に行ってみたいと言っておられた。

先生は、顔料の研究をしておられて、色々な石を削って砕いて、それを顔料にするという様なことをしておられる。是非、浜田の色々な石を研究の材料にして顔料を作ってみたいという様な話をされた。

⑮ 1月22日(火) 第11回 B&G 全国サミット(笹川記念会館・国際会議場)

三隅 B&G の施設があるが、9年連続で特 A というランクをいただいている。特 A ランクはかなりの施設がもらっているが、10年連続で特 A ランクになると、サミットの際に表彰される。利用者数、企画等で総合的に判断をされるため、是非、もう1年頑張って10年連続で特 A をもらい、表彰をいただきたいと思っている。副賞は大きな盾もあるが、B&G のマスコット人形もあり、私より一回り小さいが、大きなぬいぐるみがいただけることになっているので、来年度は何がもらえるか分からないが、来年度受賞できればいいなと思っている。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

委員方  
石本教育長

特になし。

それでは視察の感想等については、会議の最後で委員方からお話をいただきたいと思う。よろしく願います。

2 議題

(1) 平成31年度 教育方針(案) (資料1)

石本教育長

これについては、委員方には事前に配布をさせていただき、お目通しをいただいている。それぞれご指摘等あれば、部分的に区切ってご意見をいただきたいと思う。まず、1ページから3ページの3行目までのところは、前段で総括的なところを記載している。

	この部分で、ご意見、お気づきの点があれば指摘いただきたいと思う。
宇津委員	1 ページと 7 ページに書かれている、スポーツ施設について 1 ページの下から 2 行目の野球場及び陸上競技場などがあるが、7 ページの真ん中辺りにスコアボードの電光掲示板の改修工事や防球ネットの設置等の部分で野球場のことについては取り上げているが、陸上競技場については記載がない。具体的に改修なり、補強する計画があるのであれば、挙げた方がよいのではないか。
石本教育長	陸上競技場については、5 年に 1 回陸上競技連盟の第 4 種の公認競技場の認定を受けるため改修をするが、今年度改修を行っており、来年度は改修工事がないため、挙げていないというところである。
宇津委員	承知した。
藤本委員	私からは、ここまでの部分では特になし。
花田委員	3 ページの 2 行目からの「学校教育」「社会教育」「芸術文化の振興」「文化財の調査及び保存」という 4 つの項目については、何に基づいているのか。
石本教育長	施政方針の方は明確に総合振興計画でそれぞれ項目があり、その順番である。教育方針は、教育振興計画や教育大綱に基づいての順番ではなく、従来から塊として学校教育、社会教育、文化芸術、文化財という項目である。では、これに含まれないものはどこに入るのかと言われれば明確なものはないが、やり方としては、教育振興計画にも施策の柱という表現があり、基本的には教育振興計画もこういった分け方をしているが、中には違う項目のものもある。少し回答が難しいところがある。
花田委員	今回、初めて気になった。
石本教育長	私が知っている限り、昔は教育振興計画の項目ごとに分類していたが、そうするとかなり文章量が多くなるため、それをまとめている。
	他に 3 ページの 3 行目までのところまでで何かあるか。
委員方	特になし。
石本教育長	続いて学校教育について、3 ページから 5 ページ下の社会教育までのところまで、3 ページにわたっている。この部分でご意見等あればお願いします。
藤本委員	表現の仕方について、あまりとやかく言うつもりはないが、4

ページの下から 3 行目の部分で、相談体制の充実や特別支援教育担当教員の実施などと書かれているが、特別支援教育担当教員の実施などという文言はいらぬのではないかと思う。相談体制の充実や教員の資質向上を図ってまいりますで良いのではないかと思う。

石本教育長

確かに、文章としておかしい。引き続き特別支援教育担当の指導主事配置により、相談体制の充実や教員の資質向上を図ってまいりますということか。

藤本委員

そうである。

宇津委員

担当教員の実施という表現はおかしい。

石本教育長

全体の調整の際に間違っただのかもしれない。

ご指摘のとおり、引き続き特別支援教育担当の指導主事配置により、相談体制の充実や教員の資質向上を図ってまいりますという文章が正しい。ありがとうございました。

その他はよろしいか。

金本委員

細かいことではあるが、表記上のことで 4 ページの 1 行目の一人一人という表記は一人ひとりが正しいのではないか。

石本教育長

承知した。最初が漢字で、後のところがひらがなである。

他に、一人ひとりというところはなかったか、後ほど確認をしておく。これが国語上正しいのか。

金本委員

そうである。

石本教育長

承知した。

藤本委員

もう 1 点、5 ページの中ほどの校務支援システム導入とあるが、この前段のところで、また教職員の負担軽減に効果のあると書かれているが、ここの文言に引っかかって、教職員の負担軽減を図るためのという方が良いのではないかと思った。効果のあると言うのは、まだ導入していないため、効果があると言えるのかということになってくる。

石本教育長

効果があることには違いないが、確かに言われれば教職員の負担軽減を図るためのという方が正しい。

冒頭のところで学校教育におきましては、「ふるさと郷育の推進」、「学力向上総合対策の推進」、「特別支援教育の充実」の 3 つを重点として取組んでまいります。という事務局の思いとして書かしていただいているが、委員方でそうでないというご意見等あるか。

- 他の市町村と比べて、この部分について浜田市は特に力を入れているということで特色として挙げている。
- 花田委員 開府 400 年について、女性ネットワークの会議でのぼり旗が地味である等のネガティブな発言があったが、全然盛り上がらないというか、皆でそれを挙げて盛り上げようというのが全然ないという話が出た。教育方針の中に何もないというのはどうなのか。
- 石本教育長 芸術文化の振興の項目で多少記載している。確かに色々と意見を聞く中で、開府 400 年という昔のことを勉強する機会も大事であるが、これから先に向けて今までのことをどう活かして新しいものに挑戦していくかが大事である。
- そうすると、子どもは非常に大きなポイントであり、子どもが関わるイベントを考えようという意見もある。ただ、その辺りは開府 400 年の事務局があるため、そちらで今イベント等のとりまとめをされている。確認はしていないが、施政方針の中で記載している可能性はあるし、実行委員会の中でも子どもが関わるイベントを考えないといけないという思いがあるので、今の段階では方向性が決まっていないため何も書けないが、言われるとおりでうやうやと盛り上げていくかということは課題である。
- また、市長部局だけに任せてばかりではなく、教育委員会としても積極的に関わる必要がある。来年度に入って考えるのは遅いので、3月までのところで検討する必要があると思っている。
- 藤本委員 浜田市が統合して 5 つの市町村が一緒になっているが、歴史的な背景が違うところがある。そういう事情があるということも共通理解をして知っておかなければならないと思う。何でもかんでもこれ 1 本だという考えではなく。
- 石本教育長 開府というのは浜田藩ができてからであり、津和野藩とは違うというところも色々と意見としてはある。ただ、津和野藩と浜田藩との交流というのは、藩ができてすぐにはないと思うが、長い江戸時代の歴史の中では当然交流があった訳で、経済的には一体的な発展をしてきたという歴史的文言もあるということである。全く津和野藩と浜田藩との関係がないという訳ではない。その辺りも上手に PR していかなければならない。浜田でも佐野町は津和野藩である。
- 花田委員 ふるさと郷育と関連させて入れてみてはと思った。積極的に入れないという理由があるのであれば、無理に入れる必要はない。

石本教育長

そういう背景があって入れていないということではないが、歴史的なものではなくて、市長部局側に事務局があるため、そちらで記載するという認識である。

正直、学校教育のところは昨年よりも多少文量は減っていると思っている。具体的な事業の細かい内容はあまり書いていない。

学校教育については、よろしいか。

委員方

特になし。

石本教育長

では、5 ページから 7 ページの下のところまで社会教育の関係、家庭教育、スポーツも含めて、最後に図書館のことも生涯学習課が関わっているため、社会教育の中に一緒になって図書館も入っている。この辺のところ、お気づきの点があればお願いします。

藤本委員

6 ページの下から 4 行目の高校の魅力化についての記述がある部分で、高校の魅力化コンソーシアムの設置と書かれているが、コンソーシアムときいて、私はぴんとこないのだが、他の人がきいてどうかと思う。他に表現がないか。

石本教育長

これは県が言っている固有名詞である。中々それを変えることは難しい。県がそういった組織を作りなさいということで、図式で示している。高校の魅力化コンソーシアムの例みたいなものがあり、色々な企業であったり、地域住民であったり、保護者であったり、そういったものと学校が一緒になって高校を支えるという組織の図式があり、今は高校と行政と公民館連絡協議会に入ってもらい、そういった組織を作っているが、それだけではなく、民間企業や地域住民にも入ってもらおうということを県が提唱している。そういった思いも示していて、今後の高校のあり方検討会もずっと検討を重ねてきていて、それに基づいて県が 1 年間検討した中で高校の魅力化の方針も出している。その中にこのことが書いてある。そういったものを地域ごとに設置をすべきということであるが、中々すぐに設置をすと言いきれない。高校とも相談しなければならないし、実際に企業に入ってもらおうというのは実は大変な作業である。

今も高校と企業は繋がっていることは繋がっている。色々なことで高校へ出向いていたり、高校で企業について説明をされたりだとか、キャリア教育が非常に進んでいる。ただ、そういったものを組織化して高校を支援する体制を作れというのは県の思いである。確かに分かりづらい言葉ではあるが、この言葉を他の言

葉に直せと言われれば私はちょっと難しいかなと思うが、生涯学習課はいかがか。

村木課長  
藤本委員 固有名詞であるため難しい。  
固有名詞はいいのだが、意味が分からない。意味が分からなければ書いてもしょうがない。むしろ反発を買う。当然、議会にも示さなければならぬため、これはなんだと言われるのではないか。

石本教育長 その前段で、地元企業等の支援促進を図るためという言葉が付いてはいるが、確かに市民の皆さんが聞かれるため、分かるかと言われれば難しいのかもしれない。議員方は勉強しておられるので分かると思うが。  
地元企業等の支援促進を図るための新たな組織づくりについても検討していくであれば分かるか。

藤本委員  
金本委員 そういう表現になれば分かる。  
高校魅力化コンソーシアムという括りであるか。コンソーシアムだけ離してはいけないのか。

石本教育長 更なる高校魅力化を図るための組織づくりを検討するという様な表現にしようと思う。

藤本委員 意味は分かったが、以前からカタカナ表記はできるだけ避けるようにとあった。  
今日ここでどうするかではなく、ちょっと引っかけたので表現の変更ができるのであればその方がいいと思った。

村木課長  
石本教育長 承知した。  
また検討をする。  
その他はよろしいか。

金本委員 7 ページの下から 5 行目の図書館の機能の充実とは具体的にはどういったことか。

石本教育長 検討の中で、そういった意見があった。おそらく、面積的なことであったり本の増冊であったり。

村木課長 旭図書館については棟が変わる。弥栄図書館については、まだ設計段階ではあるが広くなる。

金本委員 広くなるのが機能の充実であるのか。  
石本教育長 広がって、新たな本を増やす。予算はどうであったか。  
三浦分室長 建て替えは再来年度になるため、まだそのあたりは詰められていない。

石本教育長 村木課長 藤本委員 日ノ原係長 藤本委員	<p>旭図書館はいつか。</p> <p>旭図書館は今、改修中であり来年度になる。</p> <p>来年度にどうなるのか。</p> <p>庁舎の1階の今ガレージの部分を含めて改修している。</p> <p>私が在職中に提案したことが1つあり、今初めて言うが、昔みやこ編物があった。土地は町のもので、建物がみやこ編物であった。建物を買い取らせてもらえれば、そこに図書館を移転できるという発想を持った。訳あって断念したが、建物は今でもあり、庁舎の1階よりも、あの場所が良いと思う。</p>
石本教育長  藤本委員	<p>申し訳ないが、既に設計が済んで改修工事に入っている。元々は旭センターの中にあった。</p> <p>昔の農協時代は農機具修理庫であったが、裏側にあり薄暗く場所が悪い。</p>
石本教育長	<p>既に庁舎を改修するというので全体的な整備に取り掛かっているため、場所を変えることは無理であるが、広さは大体決まっているため、広さが広まることによって蔵書を新たに増やすことができるのかを確認していないが、おそらくその予算は措置されていない。</p>
村木課長	<p>とりあえず、建物を広くしておいて徐々に書籍を増やしていくということになると思う。ここで言う機能の拡充というのは面積が広がるということである。</p>
金本委員 村木課長	<p>それに伴って、ラブック号も行動範囲が広がるのか。</p> <p>それは別問題となる。今、イベントに出向くということを行っている。ちなみにこの前、三保鍋フェスタに行ったが、どんどん今イベントに出向いている。</p>
石本教育長 委員方 石本教育長	<p>その他はよろしいか。</p> <p>特になし。</p> <p>最後8ページから9ページのところに「芸術文化の振興」と「文化財の調査及び保存」についてまとめている。この辺りはいかがか。</p> <p>この中で、1つ委員方にお話していないことがある。9ページの真ん中辺りの歴史資料館の下のところ、また、各自地区支所の空きスペースを活用して、新たに文化財の展示スペースを設け、より多くの皆さんに地域の歴史文化に触れていただく機会を増やしていきたいと考えていますとある。</p>

今、各自地区にそれぞれ資料館があるが、職員が配置をされていないところがほとんどで、電話予約をすると開けてもらえる。学校利用する場合等はそれでも良いかもしれないが、一般の方が行って資料館を見るということができない状況である。そうだと  
いって、新たに人を配置すると経費がかかるため、各資料館にある特に皆さん方に見ていただきたいものについては、支所のスペースを使ってそこに展示をするということである。支所であればそこにずっと職員が居なくても建物の中に展示をすることで、支所に来られたついでに見てもらおうという様なことができないかということを検討している。各支所全てそうする考えである。

8ページから9ページのところではよろしいか。

委員方  
石本教育長

特になし。

ありがとうございました。何点かご指摘をいただいた点については文言を整理して、最終的なものを委員方に報告を行う。また、庁議の中で市全体でたたいてもらい、その段階で多少変わってくることはあると思う。最終的にある程度の字句の訂正については、教育委員会事務局と私にらせていただきたいと思うが、よろしいか。

各委員  
石本教育長

全会一致で承認

ありがとうございました。

### 3 部長・課長等報告事項

佐々木部長

平成31年3月定例会の会議予定について（資料2）

今年は、例年より1週間程度前倒しになる。資料2を見ていただいて、2月19日に開会し、3月議会のため会派代表質問、個人一般質問、そして委員会を経て、3月12日が表決である。今の段階では、この日程で3月議会が行われる予定である。簡単であるが以上である。

古森課長

行事等予定表（資料3）

委員方出席の丸が付いているのが、2月8日の総合教育会議、2月11日の公民館の関係の案内を先ほどお配りしている。

また、この1か月では、スポーツ関係の行事や書き初め、また後程説明のある男女共同参画の講演会等が行われる。そういったものが色々あるので、可能な範囲でご参加いただければと

石本教育長  
古森課長  
石本教育長  
古森課長  
石本教育長

思う。よろしく願います。

書き初め展は、委員方に案内を送っている。

失礼した。

2月11日の案内は送っているか。

定例会が始まる前にお配りしている。

承知した。

古森課長

浜田市立原井幼稚園の休園について（資料4）

10月の協議会の時に募集要項の話を少しさせていただいたが、その段階で園児の数が少ないため、休園もしくは閉園の可能性はあるという話をさせていただいた。

募集をかけて12月14日で締めたところで、入園申込者がいなかった。現在は年長児が2人であるため、3月に卒園ということで来年度は0人となり、これ以降の随時申込みは受け付けないということを要項に記載しており、来年度については休園することを決定した。

子育て支援課で来年度の「子ども子育て支援事業計画」という計画を作る上で、今、小学生と未就学児の保護者に対してアンケート調査を行っており、その調査の中で公立幼稚園のニーズ調査を加えているので、その結果を見て今後の公立幼稚園のあり方を検討する材料にしたいと思っている。

最終的に原井幼稚園が閉園する可能性もあるし、希望者が多くて再開ということもあるため、そういったことも踏まえながら検討していきたいと考えている。とりあえずは休園という形で進めているという報告である。

市原課長

平成30年度卒業(園)式及び平成31年入学(園)式日程(資料5)

資料5をご覧いただき、卒業(園)式及び入学(園)式の日程を載せている。また、日時等を確認いただき、出席者については別途協議させていただきたい。原井幼稚園については、先ほどあった様に休園ということで入園式がない。波佐小学校については、入学児童がいないため入学式がない。資料5については以上である。

平成30年度 第5回浜田市図書館を使った調べる学習コンク

#### ール事業（資料6）

資料6については、数字の訂正箇所が何箇所かある。1番下の応募作品総数の表で、小学校の高学年の応募総数の305という数字が315である。そして、中学校の欄の授業部門の14という数字が18である。最後に合計のところでは一般部門が107とあるが131で、授業部門の合計が33とあるが51である。申し訳ないが修正をお願いします。

調べる学習コンクールについては、先ほどの教育長報告の中でもあったが、12月20日に表彰式を行い、今年度の事業は終わったが、平成26年度の第1回から始まり、今年度は第5回目ということであった。5月8日から12月20日まで、研修を重ね、作品募集、審査会を経て、多くの学校の先生方に協力いただいて実施できた。

全部で1,191点の応募があり、そのうちの182点を審査に出した。そのうちの16点を全国推薦作品として送っている。表の括弧内は昨年度の数字で、総数は1,643点からだいぶ減ったように見えるが、実は授業部門が一般部門にかなり移ったということで、クラスでの取組から個々の取組へと浸透してきたということで、決して後退したという訳ではなく、この取組が浸透してきているという数字となっている。

次の2ページのところに、4つの部門でそれぞれ4点ずつ優秀賞ということで全国に送った作品の一覧がある。そのうち、中学年の部で三階小学校3年生の上田さんが、全国で154点のうちの1点である奨励賞を受賞した。そして高学年の部で今福小6年生の佐々原さんが274点のうち1点である優良賞を受賞している。その他の14点については、1,394点の全国審査の中での佳作であった。昨年に引き続いて今年も全国表彰を受けて、賞だけが目的ではないが、中身についても非常に高度なものになってきているのが伺える結果となっている。また、詳細については資料をご覧いただきたい。

#### 新学習指導要領に対応する授業づくり研修会（追加資料）

2月9日に三階小学校で新学習指導要領に対応する授業づくり研修会が行われる。島根大学教育学部附属小学校から浜田に来ていただき、先生方向けに授業づくりについて研修を行う機

会を設けることになった。

この件については、昨年度、島根大学教育学部附属小学校から中央図書館へこういった研修ができるといった案内を受けて研修を行い、今年度も是非浜田で研修を行いたいというお話をいただいた。貴重な機会であるため、たくさんの先生方にも出席していただきたいと思い、校長会等でもお知らせをしているところである。都合がつけば、委員方にも見学いただけたらと思い、紹介をさせていただいた。

平成 30 年度学校給食週間～「学校給食フェア」～昼食会のご案内（追加資料）

次に 2 枚目をご覧ください、学校給食フェアについて、毎年 1 月 24 日から 30 日まで、実施されており、裏面の 1 番下に経緯が書かれている。

実は今日のお昼に、三隅の給食を文部科学省の職員食堂で文部科学大臣も食べられるといったことが行われた。昨日、つながる食育という 2 年間の委託事業の最後の会議の中で、県の保健体育課から話があった。古森課長と牛尾室長と私が出席をし、つながる食育の事業で取組んだ給食を 5 件、1 週間にわたってメニューを提供し、その中に三隅の給食があることを伺ったので、お知らせしたく、急遽資料を付けさせていただいた。

たまたま、東京在住で以前、浜田に赴任されていた記者の方がおられるということで、教育長から連絡をさせていただき、取材依頼をして掲載される予定であるため、また見ていただけたらと思う。

また、1 月 30 日に三隅小学校の校長、栄養教諭、島根県の担当の職員が取組を発表するという予定になっている。

市原課長

第 9 回（1 月）市校長会資料レジュメ（資料 7）

今日は牛尾室長が欠席であるため資料配付のみとさせていただくが、1 月 9 日に校長会があり、その時の資料をお配りしている。資料をご覧ください、この様なことを校長会で話しながら学力向上に向けての色々な取組を紹介しているということでご覧いただければと思っている。

資料 7 の項目 2 番目の授業改善の充実に向けてというところ

で、第二中学校と雲雀丘小学校が取組んでいる。今日は、環太平洋大学の前田先生がお見えになっていて、その授業に参加するため牛尾室長は欠席をしている。

続いて、項目4番目の協調学習研修会の案内というところで、2月25日に第三中学校で協調学習の關係の研修会が行われる。ジグソー法を取り入れた協調学習ということで、東京 CoREF (コレフ) の特任助教である飯窪先生が来られて校内研修が行われる。この度は道徳の授業であり、以前の研修と絡めて東京 CoREF の授業の様子が見られるので、こちらについてもご都合がつけば、ご覧いただきたいと思う。

村木課長

平成31年 浜田市成人式について(資料8)

資料8をご覧いただき、冒頭に教育長から報告があったが、改めて1月3日の浜田市成人式に委員方にはご出席をいただきありがとうございました。該当者数478人に対して出席者は365人で、概ね8割弱に参加をしていただき、盛大に行われたところである。特段大きなトラブルや事故等なく終わっている。今日、今回の成人式の1つの目玉となったサプライズ感謝状をお配りしている。ここに成人者が記入をして、投函した方もおられるが、持って帰って何らかの形で活用したのではないかと思っている。三隅の石州和紙を使った新たな取組であった。

村木課長

平成30年度 放送大学公開講演会について(資料9)

毎年、放送大学と連携して講演会を行っている。今回は1月12日に中央図書館において、「心理学から見える日常の面白さ、私たちの面白さ」といったテーマで、島根大学の心理学専門の先生からお話を伺った。例年、参加者は10人程であるが、今年は学生の方、受講生の方や心理学に興味がある方が多数参加をされていた。私が気になった内容としては、同じものを見てもみんな見え方が違うが、それを埋めるのは話し合いであり、話し合いをすることによって共通した認識になってくるため、やはり話し合いは大事であるというような話であった。

村瀧室長

『「テレビ寺子屋」から学ぶ男女共同参画』(資料10)

今回、お越しいただく元フジテレビアナウンサーである松田朋恵さんは、9月の「浜田市人権尊重のまちづくり推進大会」で講演いただく予定であったが、台風の影響で中止となっていた。市民の皆さま方からは是非聞きたかったというご意見をいただき、今回先生にお願いをして実現することとなった。前回と同じく『「テレビ寺子屋」から学ぶ男女共同参画』と題し、講演していただく。男女共同参画社会の実現に向けて、男性、女性にとらわれず、自分らしく生きる、1人ひとりが大切にされる人権尊重のまちをめざし、男女共同参画の意識を高めることを目的に開催する。開催は2月16日の10時30分から12時10分の予定であり、場所は浜田公民館である。たくさんの方にご来場いただき、ともに学び男女共同参画の感覚を身に付けていきたいと考えている。よろしく願います。

日ノ原係長

#### 第21回島根県雪合戦大会（資料11）

冒頭、教育長からも話があったとおり、雪不足のため会場は市民体育館に変更となり開催される予定である。1月26日、27日の2日間で行われる。

三浦分室長

#### （仮称）杵束コミュニティ施設の整備について（資料12）

この施設は現在、弥栄町の木都賀地区に弥栄老人福祉センターと老人憩いの家という2つの施設がある。杵束公民館と弥栄図書館は、今、老人憩いの家へ入っており、この2つの施設は建築年数が経過し古くなっており、耐震も行われていないということで、公共施設再配置実施計画に基づいて、この2つの施設を複合化して仮称であるが、杵束コミュニティ施設としてコンパクトにして1つにすることを計画しているところである。先ほども申し上げたとおり、杵束公民館、弥栄図書館があるため、こちらは新たにその中で整備をしていく計画にしている。

新しい施設の概要については、資料の項目1に記載をしている。建築予定年月としては、平成33年1月頃を目途としている。その後、3月までに引越し等を行い、平成33年4月には供用開始の予定である。構造としては鉄骨造平屋建て、延床面積は公共施設再配置実施計画で挙げられている、今ある2つの施設の合計の延床面積の7割以下という目標があるため、それに

則り、今後設計をしていく予定にしている。主な用途については、杵束公民館で弥栄支所の出張所業務も行っているため、それについても引き続き受け継いでいく形になる。

既存施設の概要については、項目の2番記載のとおりである。

項目3番目に平成31年度当初予算要求ということで書いているが、新年度については実施設計、地質調査に関する予算を要求予定である。

項目4番目に整備予定地として挙げている写真を見ていただき、上側に弥栄診療所と弥栄苑があり、中央には杵束保育園がある。下の方へいくと弥栄中学校があるが、建設予定地としては真ん中右辺りに予定地として斜線を引いているところである。今の2施設の敷地内にゲートボール場があり、そこを予定地としている。予定地の隣接に老人福祉センター、老人憩いの家の2つの施設がある位置関係になっている。

項目5番目に整備スケジュールを載せている。来年度に設計業務、地質調査に入りたいと思っている。設計が終わった後、平成32年度に先に新しい建物を建てて、備品等の整備をしたいと思っている。平成33年度に新しい建物の供用開始を始めて、既存施設の解体を行い、解体後に敷地の整備等の外構工事を行う。来年度からの3か年計画ということで整備を進めていく予定としていることを報告させていただく。

石本教育長

以上資料のあるところについては報告いただいた。資料がない課で報告事項等あるか。

各課長

特になし。

石本教育長

今、部課長方から資料2から12までの報告があった。これについて委員方から質問等あれば願います。

#### 質疑応答

藤本委員

資料12の説明に関連して、私が以前聞かれたことについて答えられなかったことが少しあり、ここで結論は出ないかもしれないが聞きたいことがある。仮称としてコミュニティ施設という名称であるが、以前にもこのことについて、教育委員会で意見交換をしたと思う。そこで結論的なものは出てなかったと思うが、公民館のコミュニティセンター化を目指すということが新聞に書

かれていた。コミュニティセンターになると何がどう変わるのかという質問を受けたが、決まったことではないので分からないという回答をしている。それで良かったのだろうか。

村木課長

コミュニティセンター化については、藤本委員が言われたとおり決まっているものではないが、言葉で定義付けとしては、公民館機能を充実し、まちづくりの拠点機能を強化するものである。しかし、職員配置だとか、どういった機能を具体的に伸ばすかというのは今からである。ただ、公民館機能は充実する、まちづくりの拠点機能は強化するという曖昧な言葉であるのが、正直なところである。そういったことで、今回の（仮称）杵束コミュニティ施設の話はまた別であるが、コミュニティセンター化についてはそういったことである。

石本教育長

今、説明があった様に、まだまだ進行形で協議をされている状況で、公民館機能は更に充実させ、なおかつ、まちづくりの拠点としての機能については強化をしていく。そういった新しい組織が、名称は分からないが、いわゆるコミュニティセンター化と言われる新しい施設の概念である。

多分、今、あちこちで色々と質問をされる方がおられると思うが、まだまだ市としての説明が不十分なところがあるため、地域協議会に出向いて行って説明を行うことも地域政策部で取組んでおり、そういった方法で説明をしているところである。

藤本委員

私が質問を受けたのは、新聞記事を見られた方で、今年の12月14日の記事であった。私は、新聞記事は見たが、具体的には決まっていないと思うという様な言い方をして今日に至る。今の段階ではそれしか言いようがないと思う。資料でコミュニティ施設とあったため、お尋ねさせていただいた。

石本教育長

（仮称）杵束コミュニティ施設については、コミュニティ施設という名称を使うと紛らわしいので、名称を変えるという話がなかったか。

三浦分室長

色々とその辺りも危惧することもあって検討をしたが、仮称であるため、とりあえずこの名称となっている。先ほど村木課長が言われたが、コミュニティセンター化とは別のことであるということに理解いただければと思う。

石本教育長

その他はよろしいか。

卒業式の割り振りはいつ決めるのか。

日ノ原係長  
石本教育長

今日、この後に行う予定である。

承知した。

委員方から質問等はよろしいか。

宇津委員

原井幼稚園が残念ながら休園ということになり、園長先生などの職員の配置についてはどうなるのか。

石本教育長

園長先生については、嘱託園長であり、1年の更新であるため、今4名おられる園長が3名になることになる。ただ、入替え等もあるため、休園によって1人の方が退かれるという訳ではないと考えている。

職員については、基本的に幼稚園の設置基準の中で、いわゆる臨時的な任用で担任を持つ先生は3分の1以内ということになっているため、今はまだ3分の1以内で正規の教諭だけではなく、嘱託の先生方も配置をしているため、その部分を正規の先生に代えるといったようなことで、嘱託職員の数が減るという整理となっている。

今、行っているニーズ調査の中で最終的にどういった結果が出てくるかというのが、今後の方向性を示す非常に大きな材料になる。仮に、公立幼稚園に入れる希望が無いという結果であれば、公立幼稚園そのものをどう考えるかということとなってくる。今までのところは4園を3園にするという方向性だけは出ていて、どこに新しい園を建てる等の協議をしていたが、そこから状況が変わってきた。仮に調査のアンケート結果で、ニーズが少ないことが分かれば、1園にするだとか、その辺りも検討せざるを得ない。そういう方向にしたいとは思いますが、来年度にその辺りを整理させていただきたいと思う。

藤本委員

何か方策はないかと考えた時に、先ほどの高校の魅力化についてとあったが、公立幼稚園の魅力化について考えてみた時に、1つは預かり保育がこれからは求められてくると思っている。やはり、降園時間が午後2時、3時というのは中途半端な時間であるため、保護者の方も扱いが難しいのではないかと思う。

石本教育長

幼稚園の預かり保育であるが、その辺りについては保護者の方から毎年要望をいただいております、是非実施をしてほしいということである。全国的には公立幼稚園の6割ぐらいしか預かり保育をやっていないが、県内では多くの市町村が実施をしている。そういった意味では松江市、出雲市から転勤で来られた方から預かり

保育がないのかというお尋ねが多々あった。浜田市でもやらなければならないとは重々分かっていて、何かのきっかけでやろうということで新しい統合園の建設時には、預かり保育も一緒にやるという話で今までは進めてきた。

統合園がもう少し進んだところで検討しなければならないという状況になりつつあるので、その中で先行してでも今後、検討していく必要がある。

また、要望の中に給食も給食センターで作ることができるのであれば、是非幼稚園でも給食を提供してほしいという意見もあった。給食センターでも作れることは作れると思うが、配送ができないということであり、別の配送にかかる経費を負担すれば可能かと思う。その辺りは課題の1つである。

その他、意見等はよろしいか。

特になし。

今日もたくさん資料があったが、中々細かいところまで目を通していただく時間はなかったと思うが、また何かあれば事務局まで連絡をいただきたいと思う。よろしく願います。

委員方  
石本教育長

#### 4 その他

##### (1) 自然スクールトエックについて

日ノ原係長

カラー刷りの資料を見ていただきたい。

教育委員視察についてのご意見をいただく中で、花田委員から徳島県阿南市の自然スクールトエックについてのお話があり、中々日帰りでの視察研修が難しいということで、何か資料があればということで、自然スクールトエックに話をさせていただき、資料提供いただいたため、今日は配付をしてご紹介させていただく。またご覧いただければと思う。以上である。

石本教育長  
花田委員  
石本教育長

花田委員から何かあるか。

資料を集めていただき、ありがとうございます。

私もまだ全部は読んでいないが、森の幼稚園の小学校版といった感じである。

花田委員  
宇津委員

目指すところは一緒であると感じる。

面白いなと思ったのが、最初に褒めないというのが冒頭にきている。

石本教育長

褒めないというのは言葉の問題で、褒めないけれど認めるとい

	うことが書いてある。 資料は何部あるのか。
日ノ原係長	5部送ってもらっている。
石本教育長	その他、事務局から何かあるか。
日ノ原係長	特になし。
宇津委員	島根県公民館研究集会の案内が届いているが、自由に参加できるのか。
村木課長	自由参加である。三隅中学校の教室を10ほど用意していて、それぞれで3つの団体が発表を行う。興味のある教室に行っただくようになっている。是非、お越しいただければと思う。
石本教育長	全体会があるのか。
村木課長	最初に中央会館で表彰を行い、後は全て各教室の中で行い、そこで解散である。
石本教育長	開会式はあるのか。
村木課長	開会式は中央会館で行う。そこでは表彰だけである。
石本教育長	そこに市長が来られて、挨拶されるのか。
村木課長	そうである。
石本教育長	後は中学校に移動して、各教室で3団体に分かれて発表がある。昼食はどうなっているのか。
村木課長	事前に弁当を注文していただくようになる。事前申し込みだけで、480個の注文がきている。議員の方や委員方は事前申し込みをされていないので、500個を超えるのではないかと思っている。
石本教育長	その場でのお弁当の販売もあるのか。
村木課長	その場での販売はない。
石本教育長	承知した。
日ノ原係長	先月の定例会のときに部課長報告で報告をさせていただいたが、案内が今日になってしまい、案内と報告の資料が前後している。申し訳ない。
石本教育長	承知した。
	16時頃までか。
村木課長	15時20分までである。
石本教育長	承知した。
	委員方も可能な限りご出席いただければと思う。
	その他に資料以外のところで質問等あるか。
藤本委員	先般、テレビで安来市で全国山城サミットが行われ、録画をし

てじっくり見させてもらった。昔の広瀬町、今の安来市にある月山富田城がかなりの大藪であったそうであるが、5 か年計画で立木伐採を進めていて、今かなり整備されているのが映像で出ていた。

聞いたところによると、観光客かどうかは分からないが結構人が来ているらしい。浜田城について、登っても海も何も見えない。私は何回も行っているが、せめて海が見えるぐらいに樹木を整備できないと、観光客も来られないと思う。山城サミットを見た中で、シンポジウムの中で言われており、そうだなと思い、浜田市も 1 つの課題として立木を整備できないと言葉で呼び込んでも中々難しいのではないかと思った。

山本係長

整備については、建設部と一緒に城山整備を今行っている最中なので、こういったご意見を参考にさせていただく。

藤本委員

欲を言えばゆうひパークから指差しできるくらい見えたら良い。今は何も分からない。それが、ゆうひパークから見えるくらいになると、宣伝効果も高まると思う。

石本教育長

私が聞いている範囲では、立木整備は当然される。昨年度と今年度で城山公園の整備をしている。蛭子町に広小路というところがあるが、昔そこから浜田城が見えると言われていた。おそらく、あの辺りから見えるくらいには、立木は伐採される。ただ、保安林の関係で県の許可がいる。あとは外ノ浦の港が見える様に、スポットが見える様な整備をすると聞いている。今年の 10 月にはある程度眺望が開いていると思う。

津山城も昔は木で覆われていて、城が全く見えなかったが、城の一部を作るときに、城が見えないのでは絵にならないため、文化庁とかなり協議をされて、城山の木を切られたということであった。基本的には切ってはいけないということであるが、色々と調整をして可能な範囲で、津山でもそういったことをされたと聞いているため、先ほどの月山富田城もその様に整備をされていると思う。浜田市もそれにならって整備をしたい。

藤本委員

海から見られたらいいという話も聞いたが、そこまでは難しいと感じるため、現実的な方法で考えないといけない。山城サミットを見て、そこに近づけるぐらいまで、切れないかというのが私の思いである。そうしないと観光と言われても中々来られない。

石本教育長

その他はよろしいか。

委員方	特になし。
(2) その他	
石本教育長	先般の視察に行った時の感想を委員方からお聞かせいただければと思う。
宇津委員	視察の場で言えば良かったと思うが、協調学習の授業をされた先生は素晴らしいものを持っておられた。中々あそこまで教員の資質を高めていくには相当なハードルがあるという気がした。ただ、果たして、あの授業の中で、どれだけの子どもが授業を理解していたかは分からない。分かった様な顔をした子どもも相当数いたかもしれない。
石本教育長	感心したのは、あの授業の後でフォローをする時間を設けており、そこが大事なのかなと感じた。子どもたちが皆良い顔をしていて、分かったという顔をしているから次にいくのでは定着しないだろうと思う。その点で、やはり非常に力のある先生方があの後のフォローをしている時間が大事なのかなという気がした。
藤本委員	次の一時間で理解するまでもっていつているのかもしれない。
藤本委員	私は視察について復命書という形で事務局に提出している。その中で、廿日市市の校務支援システムについての課題が3点、加計中学校の協調学習については課題が2点、気が付いたことを書いている。
石本教育長	校務支援システムについては、廿日市市は浜田市と学校数が同じくらいで財政規模も同じくらいかと思ったが、廿日市市には競艇場があり、あの辺りの財源があるのか財政事情が浜田市とは違うと思った。
藤本委員	人口は浜田市の倍以上ある。12万人近いくらい。
藤本委員	1つ目は、視察の際に宇津委員が質問されていたが、校務支援システムの導入により、残業時間等が減ったことにより、子どもたちと接する時間がどれくらい確保できたのかという質問をしたときに、まだその辺りのまとめができていないという回答であったことである。
藤本委員	2つ目に、担当職員がいないと使えないということではいけないため、廿日市市では管理職を含めて全ての教職員にこの内容を周知しており、研修システムが確立されていると思ったが、果たして浜田市でそれがどこまでできるかなと疑問に思った。

3つ目がお金の話であるが、初期投資と年間リースでかなりの費用がかかるが、年間リースは4千万円必要とのことであり、中々かかると思った。

協調学習では、1つ目に協調学習そのものについての、教職員を中心とした理解者が増えていかなければ前に進みづらいのではないかと思った。

2つ目に、教職員には当然異動があるため、その際に引継ぎが絶え間なくできる環境づくりについて疑義を持った。

簡単ではあるが、研修について感じたところである。協調学習については以前から浜田市でも取組んでいるため、それが広がってほしいと思う。

校務支援システムについては、以前から教育長が浜田市単独では無理であると言っておられ、教育事務所管内単位での取組ができないと難しいと言っておられたので、私もそうであると思っている。以上である。

ありがとうございました。

校務支援システムについて、廿日市市で見させていただいたが、まず市役所の建物規模が全然違って、予算規模が全然違うと感じた。働き方改革で先生方の負担を軽減するために導入は必要だと思っており、本当は県全体で取組んでもらうことが第1希望だと思うが、それが中々叶えられないということで、教育事務所管内でも中々大変だろうと思うが、何とか取り組んでいかなければならない。

加計中学校の協調学習については、いただいた資料を家に持って帰って見たらすごい資料だなと思った。こういったたくさん資料を作るのは大変だったと思う。また、花田委員が言われた様に、子どもたちが落ち着いているから学習ができるのではなく、この学習によって子どもたちが変わる部分があるということを感じた。先生方も目標に向かって一枚岩になって、学校全体を盛り上げているということが感じられた。以上である。

ありがとうございました。

委員方が言われたとおりであるが、校務支援システムはやらなければならないと思った。どんな規模であれどんな形であっても、絶対に必要になると思った。どんな形になるかは浜田市で研究しつつ、前向きに検討するべきである。

石本教育長  
金本委員

石本教育長  
花田委員

協調学習については、私自身が勉強不足であったため、余計に今まで当たり前だったものが全部ひっくり返ることであると感じた。学校で先生は親切な人で、多くの教えてあげたいことを持っていて、それを伝えるのが仕事と当たり前と思っていたので、教育長も言われていたが、50歳過ぎたら無理と言われた。確立した自分のやり方を変えていき、本当にカルチャーショックを自分の中に起こさないとならないことだと非常に感じた。そこを柔軟に変えていける方々がこれからの人であるのだろうなと思った。視点を変えないと先生方も中々難しいと思う。形だけを真似しても全く違う部分で、どういう意味があってこれによってどうなりたいのかということ、はっきり持ってない限り下手にやってはいけないと思った。形だけ真似をして学力が上がるのではないかと思うのは大間違いで基本的に学ぶということは子どものものだということからのスタートにしなければならないものだと言った。何のためにというところを、いつも立ち返りながら、研修にしても研究授業をしていくにしても、そこは皆が持っていたものだと言った。

石本教育長

私も協調学習については、今新しい教育学習指導要領の中で主体的で対話的な深い学びという言葉だけが一人歩きしているが、そういった授業を展開しようと思えば、とにかく先生はなるべく話さず、余り多くのことを語らないことが、新しいスタイルだと、この前の会議で聞いた。そうすると、今までの教え方と全く変わるため、先生方の中でどの様に消化できていくのか疑問である。授業のスタイルを変えるというのは、やはりしなければいけないが中々難しいことだと思つづく。確かに、原田先生が最初に説明をして以降、先生が発言されることが非常に少なかった。ただ、それは次の2時間目にまとめがあったため、1時間目ではそういった場面が少なかったのかもしれない。とにかく子どもたちに考えさせて、子どもたちの中でどんどん発表していく。発表する中で力をつけていく、そういった授業の展開であった。子どもたちはそういった授業に慣れていて上手に対応していた。中学校2年生なので、発表の部分では色々と戸惑いがある子もいたが、子どもたちが自主的にやっている姿はやはり見習う部分が多いと思った。

冒頭に話をしたが、先生方がいつでも浜田に行くと言ってくだ

さったので、浜田市の中で本当に真剣に取り組みたい学校へ来ていただいて授業をしていただきたいと思っている。今、金城中学校と旭中学校は研究指定校としており、先生方が学校をあげて取組もうという気持ちになっているため、その辺りを少し深めることができれば良いと思っている。小学校では、正直中々広がっていないが、三隅小学校が是非取組みたいとのことであった。昨日、実は加計で研修会があり、三隅小学校から3名の先生方が行かれて来年度取組みたいとのこと検討中である。萩原主幹は、小学校で研究授業をやりたいと言っておられた。

私も教育委員会にきて10年ぐらはずっと東京大学のCoREFとつながって、研修会にも参加して、研究を進めてきたが、協調学習を柱として教員に勧めてきたかと言えば、そうではなかったため、今まで以上に力を入れて取り組むべき学習方法であると今回の視察で感じた。来年度以降はもう少し重きをおいて考える。加計と比べると浜田はあれもこれもやり過ぎていると感じ、窓口を狭めて一点豪華主義でやるのも良いかなと思っている。

藤本委員  
石本教育長

私も同感である。

あれだけやるのに自信を持って教育長が話をされて、先生方も自信満々で説明をしたり授業をされたりする姿はやはりすごい。そういう姿を見ると子どもたちはついていくと思う。昨年度は視察に参加できなかったため、今年度は研修に参加できて勉強をさせてもらった。ありがとうございました。

石本教育長  
日ノ原係長

その他について、事務局から何かあるか。  
特になし。

#### 次回定例会日程

定例会 2月27日(水) 13時30分から 北分庁舎2階会議室1

#### 次々回定例会日程

定例会 3月19日(火) 13時30分から 北分庁舎2階会議室1

15:50 終了